

平和への誓い 憲法でまもる 私たちの未来
 憲法理念の実現をめざす第60回護憲大会 新潟大会

第60回護憲大会開催



今回、私は初めて護憲大会に参加させていただきました。正直、私自身、憲法や政治といったものに知識や関心があまりなく不安でした。

しかし、初日に行われました。メイン企画でもある議院さんの講演の中で「実は私も20代の頃なんて全く政治や憲法に興味がありませんでした。」と言っておられ、少し気が楽に講演を聞くことができました。その議院さんも年をとるに重ね「今、日本で起きている馬鹿げた政治問題などに不安を感じ、少しずつ政治や憲法に関心を持つようになり勉強をしてきた。」と教えていただきました。私もまだ、20代ですが今のうちからニュースや新聞を政治の部分まで目や耳を傾けていこうと思いました。

そして、2日目は、新潟市内の会場で分科会が行われました。私が参加した分科会は「軍拡・基地強化」でした。講演の中で一番頭に残っている言葉は「北朝鮮から最初に狙われる基地は、小松基地」と言うおられました。私の地元は、富山ですけど、同じ日本海でもあります。わたし達の大事な港もダメージを与えられます。その様な事態が起きないようにミサイルや核などは許してはいけなく強く感じさせられました。

この3日間の護憲大会は、本当に中身の濃い貴重な体験をさせていただきました。この経験を私にさせてくれた、周りの方々に感謝すると同時にこれからの組合活動をよりいっそうとりくんで行こうと思います。本当にありがとうございました。

日本海地方伏木支部青年部長 李大 順紀

私は今回初めて護憲大会に参加しました。

開会総会のちメイン企画、憲法審査会の現実と今後の私たちの取り組みについてのテーマについての講演でした。私は普段国会中継を見ることがなく、特に関心を持つこともなくニュースで放送されることしか知りませんでした。

今回実際議員さんのお話を聞いてたくさんの事を知ることが出来ました。ニュース等で流れる情報がすべてではなく、正確ではないこと、そして政府が憲法改正をしていく中で、その本質が何なのかということも知ることが出来ました

今回の大会を通して私が感じた事は、自分たちが住む国でなぜ政府は住みやすい国をつくれぬのか、すごく強く感じました。なぜ、過去の過ちを繰り返そうとするのか、分科会の話の中で講師の方が“私たちは過去の過ちを忘れてしまったのか” 私は戦争の経験はないですが、今年の沖縄平和行進に参加して大変つらい思いをしました。なぜ、ここまでつらい思いをしたのにまた繰り返そうとするのかと感じました。憲法9条だけでなく、今の時代にはたくさん問題が出ています。今すべきことは軍の拡大なのか、次世代へと繋げなければならないことがあるのではないかと感じました。憲法改正をしていく中でその本質をもっと世の中へ話すべきではないのか、そう強く思いました。

沖縄平和行進、護憲大会に参加してきた中で平和への思い、自分たちの未来を守る活動がこれからの自分たちの為に大事だと思いました。そして、その未来を変えていくことができるのも、私たち若い世代ではないのか、これからの青年部の活動を活発にしていくことで、自分たちの未来を少しずつでも良い方向に変えていくのではないかと感じました。今回は貴重な経験をでき大変良かったです。ありがとうございました。

敦賀支部青年部部長 小畑 大樹

第60回護憲大会に参加して



平和フォーラム

2023

ピーススクール

今回初めてピーススクールに参加し、様々な講義を受け、普段聞かない言葉や国内の政治をはじめ、経緯やその実態などを勉強し「本当の平和とはなにか」「今後自分はなにをしていかなければならないのか」などたくさん考えさせられることばかりでした。

また自分の知識のなさを痛感しましたが、その分新たな発見を得ることができとても貴重な経験になりました。

ディベートでは、賛成反対両者の意見や皆さんの話し方を聞き、言葉の抑揚一つで人を引き付けること、知識量が圧倒的に有利なことを感じ、普段から会話をするにあたり工夫と知識をつけないといけないと感じました。最後になりますが、組合活動をしていなければ出会うことのなかった他労組の方々とも意気投合し、楽しい三日間を過ごすことができました。築いた関係を今後も生かし情報交換や違う組合活動のきっかけづくりなどもっと交流を深めたいと思いました。

また、勉強したことを組織に持ち帰り、自分をはじめ若手の成長につながるように頑張っていきたいとおもいます。

全港湾小名浜支部 齋藤直道



「第五福竜丸展示館」を見学



今回、私は二泊三日の日程でピーススクールに初めて参加しました。

内容は憲法や政治、人権問題など多岐にわたり様々なお話をさせていただきました。

色々な講座を通して感じたことは、私は今回学んだことをどのようにして仲間に伝えていくか、そしてそこから次の世代にどうやって関心を持ってもらえるかということです。

日本の政治家たちは今、現役世代の国民の無関心をいいことに自分たちにとって都合のいいように新たな法案をつくり実行に移し、都合の悪い部分は隠しています。

この日本を良くするのは私たち国民ひとりひとりが声をあげていくことだと強く感じました。

声をあげるためには私たちが積極的にこの国の歴史を学び日本の現在を知り今後、日本のためにどうしていくべきかを考えなければならないと思います。

しかし同時に今回学んだことを全く無関心の人に伝えることは難しいと思っています。

なぜ無関心になってしまったのか、国が現役世代である私たちの声を聞いてくれない・そもそも現役世代の声なんて聞かれないと諦めてしまっているのではないかと感じました。そのようなときはどうすればいいのか考えたとき、言葉は悪いのですが強制でもいいのでこのような研修の場に参加してもらえないと思います。それが無関心を脱出する一番早い方法だと思いました。

そして関心を持ってもらうことができればより日本はいい方向へと行くと思いますし、このような場もより価値が上がっていくと思います。私も今回学んだことを活かせるように自分に出来ることをしていきたいと思っています。

全港湾八戸支部 寺澤大知